

1学期の図書館（資料）利用及びその指導の状況 について

2012.8.24（金）

文化部図書係（司書教諭）

- 入館者数・・・昼休み 通常は80～150名程度の幅で推移。最多は7月17日、210名。
放課後 通常は50～100名程度の幅で推移。最多は4月28日、105名。
（統計は7月24日（火）現在）

○貸し出し・返却の利用状況について

1日平均の貸し出しはコンピュータ統計によると4月が69、1冊、5月が74、5冊、6月が48、2冊、7月が129、1冊。合計105、4冊。（最多貸し出し・・・通常貸し出しでは初日4月10日の107冊。1人5冊まで貸し出しOKの子どもの読書週間では初日の4月23日、257冊。1人10冊まで貸し出しOKの夏休み長期貸し出しでは7月17日の**618冊**。（これは1日の貸し出し量としては過去7年間で最多。）

今年度も入学式翌日の4月10日から開館し、順調に貸し出しは伸びている。「子どもの読書週間」や夏休み長期貸し出しといった図書館行事や、放送・新聞等の広報によるPR、総合や教科の調べ学習の影響は大きい。学年別に見ると1学年の貸し出しが大変多い。今年度も国語科で最初に「MY FAVORITES」で学び方の指導を兼ねて（1学年）、また夏休み近くには読書指導を兼ねてゆっくり借りたい本を選ぶ時間を出来るだけ多くのクラスで設けているので、その際の利用も多くなっている。通常貸し出しについては、例年そうだが、週の始めと終わり（月・金）の利用が多い。休日にゆっくり読もうという意欲が感じられる。

導入3年目になったコンピュータソフト「探調ツール」の取り扱いには局員もけっこう慣れてきたが、反応が細かいため戸惑ったり気づかずにミスをする場合も多い。1台につき2名ずつで対応する体制で画面をしっかりと見る指導が引き続き必要である。貸し出し・返却に使えるコンピュータは2台しかないので、貸し出しの「長蛇の列」が見られるが、例年のように不可抗力である。

貸し出し最多者は、3年6組、〇〇〇〇〇さんで223冊。学級別の貸し出し最多は、冊数別では2年4組で595冊。人数別でも2年4組で256名となっている。

貸し出し回数が多い図書は『旅ポン』シリーズ、山田悠介のもの、『とろける鉄工所』シリーズ、『ぼくらの〜』シリーズ、『王様ゲーム』シリーズ、『空想科学読本』シリーズ、『日本人の知らない日本語』シリーズ、有川浩のもの、『キノの旅』シリーズ、『妖怪アパート』シリーズ、『ダーリンは外国人』シリーズ、東川篤哉のもの、星新一のもの等が健闘している。テレビや映画の影響もあるが、朝読書の続きの本も予約が入る。朝読書用学級文庫は、内容もよいと考えられる本を発達段階や学年の状況・バランス等を考慮して選んでいるので、ぜひ読ませたい。先生方もぜひ勧めていただきたいし、できれば読んで知っておいていただきたいと思う。また、司書教諭便りや図書局便りで紹介した本、図書局員作成のポスターの本はよく借りられている。また、昨年度から始めた図書局員による「オススメの1冊」は、局会で作成し図書館の廊下に掲示しているものだが、生徒はけっこうよく見て読書の参考にしているようだ。いずれにしても、本校生徒の素直さが感じられる。友達や大人からの働きかけは大いに功を奏する。先生方にもぜひお願いしたいし、紹介した本についてはお知らせいただくと対応しやすい。また、早期開館と新着図書の早期購入、貸出できる冊数の増加は、利用への意欲を大いに喚起する。あふれるような本の中で読書できる環境を引き続き作ってやりたい。

開館時の状況については、入館者が多く、短い昼休みでも大変混雑している。また放課後などに座ってゆっくり読む生徒が例年より多く見られるのは今年度の特徴である。利用時間には司書教諭一人では手が回らないことも多いため、ひどく混雑すると予想される際の昼休みの「当番1分前集合」や、先生方の見回り等のご協力も引き続きお願いしたい。

○朝読書の状況について

1・2学年は登校も早く、静かに読んでいる。3学年は遅く来る子が多く、開始時間後もざわついているクラスもあったがいろいろな方法で引き締めを図ってきたため、やっと少々は効果が見えてきた。廊下巡視2名体制は特に効果があるが、副担任の人数等は厳しい状況にある。校長先生もときおり巡視して下さるのは大変有難い。とにかく「**8時20分には、来ている子はしゃべらずに読み始め、25分には全クラスがシーンとした状態で読書を始めている状況にする**」という原則どおりの体制を全職員で指導していく必要がある。読書指導というより生徒指導の面が強いが、徹底的に指導しないと現在の方法（教師も一緒に教室で読むのではない、本校独自の方式）ではすぐにくずれてしまうのである。また、**家庭学習課題の回収は読書前**という点は徹底されてきたように見受けられる。

○授業等での利用と指導の状況

- 4月 6～10日 全学年、朝読書開始（自校利用も含め年間で寄託図書活用）。
10日 図書館開館。1学年、校舎巡りで入館。
17日 6校時、全学年 放送による図書館オリエンテーション。
19日 情報活用及び情報教育特別委員会（以下、情報委員会と略す）で各教科・学年・領域での今年度の活用や、その教育について等を話し合う。
- 中旬～ 1学年、国語科で「MY FAVORITES」。図書館の分類と配架について、体験的に学ぶ。司書教諭もTTや直接授業など実施。（～下旬）
下旬～ 1学年国語科で百科事典等の参考図書の使い方と情報カードの書き方を指導（～5月中旬）並行して教室で国語辞典漢和辞典の使い方の指導も。
下旬～ 1学年英語科で英和辞典の使い方の指導。（～5月）
5月～ 全学年、国語科で国語辞典・漢和辞典の使い方とその習熟の指導開始。
7日～ 保体科1学年で人体について本校図書館と寄託図書を使って調べ学習（～23日）。
中旬～ 1学年、旅行的行事の学習に市からいただいた冊子活用。本校図書館資料も活用（彫刻、レクゲーム、絵本等）。
中旬 2学年、旅行的行事の学習に本校図書館資料活用や情報カード作成習熟（～6月）
中旬～ 2学年家庭科で「郷土の食」について本校図書館資料や寄託図書で調べ学習。
下旬～ 全学年国語科で説明的文章による情報のまとめ方の学習。（～6月中旬）
6月中旬～ 保体科2・3学年で本校図書館と寄託図書を使って環境・健康と食について調べ学習（～7月12日）。
下旬 理科2学年で寄託図書（図鑑等）を使って動物について調べ学習（～7月）。
中旬～ 全学年、学校祭関係で図書館とその資料活用（含、寄託図書）（～9月）。
7月 4日 2・3年、寄託図書による学級文庫で「読書の木」実施。感想を交流。
初旬 3年国語科で新聞への投書（意見文）作成指導。
中旬 1年国語科で新聞の見方、記事の種類とファイル資料（切り抜き）作成について学習。
中～下旬 全学年国語科、夏休みの読書感想文とその書き方について図書館で指導。寄託図書も活用。
下旬 1学年国語科で「読書の木」実施。
中～下旬 全学年の道徳で、タバコ、アルコール、ドラッグについての指導に合わせて学級文庫に関連図書を寄託図書で設置。
下旬～ 2学年、自校図書及び寄託図書を、社会科の夏休みの課題解決に活用。
3学年、自校図書及び寄託図書を、保健体育科の夏休みの課題解決に活用。

○ひとこと（司書教諭として気づいたこと・感想・反省等）

- ①新指導要領の実施に伴って教科書の内容も新しくなり、特に国語科の中での「学び方の指導」（情報教育の分野）が多くなった。特に1学年の1学期では初めからその内容が盛り込まれているため、図書館の分類や参考図書の利用法、情報カードの作成法や新聞の見方・活用のしかたについて・・・といった基本的なことを集中的に指導することが出来た。おかげで他の学年・他の教科や領域（保体科、家庭科、総合・学活等）での図書館活用にも役立ち、その中で習熟させることも出来たように思う。生徒は積極的に情報カードを作成し図書館や参考図書等を活用する傾向が見られるようになった。参考図書の使い方の指導では英語科の辞書指導が例年より早まったことも重要である。さらに各教科で進め、「学び方の指導」を全体でしっかり進めていく必要がある。また、授業等で図書館に来る回数が増えると、読書への意欲も湧き、「読書の木」の実践とも相まって、貸し出し量の増加につながったようである。特に1年生の意欲はすばらしいものがあった。
- ②図書館オリエンテーションも早くに行うことができ、①と合わせて生徒の利用増加につながっている。特に1学年は出来るだけ早くそういう形にむけると効果的である。
- ③朝読書用の寄託図書による学級文庫設置は、各学年とも、司書教諭として「読みやすくて面白く、学年の発達段階や興味等も考え、なるべく質の高いものを・・・」と熟考した末に選書した。生徒の読書の質を高めるのにはよいと思われる。「読書の木」の指導にも使ってみたが、効果的だった。先生方からも引き続き薦めていただきたい。
- ④自校設置の寄託図書は、他校のものと合わせてけっこう活用されている。特に、「今すぐほしい」という場合や、常時必要な朝読書の学級文庫では、効果的に活用されている。さらに活用を進めたい。また、寄託図書の返却に際しては、きちんとした形で戻せるよう、各学級での確認には十分に気をつける必要がある。返却日についても担当者は日にち・時間・冊数・形・場所等、さらにしっかりと確認する必要がある。
- ⑤新聞を図書館で読むことは定着している。
- ⑥各教科での図書館及びその資料の活用学習が増えた。情報委員会も効果的だった。教科での活用に対する意識も高まっているが、さらに効果的に活用していただきたい。最初の計画にはなかったものでも大丈夫なので早めに連絡を。（遅れると寄託図書や「ぶっくさあくる」の活用が間に合わなくなるので、できるだけ早めをお願いしたい。）
- ⑦学活での図書（含、寄託図書）の活用等、連携できた（特に保健学活）。もっと道德等でも、司書教諭からの読み聞かせ・朗読等も含め、さらに活用を考えていただきたい。
- ⑧不登校気味の生徒の登校時学習場所や生徒指導の重要な場としての活用もされていた。常時では困るが、図書館が空いているときの利用はよいと思う。特に生徒指導の一つとしての読書を考慮に入れてもよいと思うので、そちらの方面でもご相談いただければと思う（今のところ効果的な例も有ります）。
- ⑨寄託司書の〇〇さんが、仕事が早く終わった場合、自発的なボランティアとして図書館の整備を手伝ってくださっている。傷みやすい図書のブックコート掛けや破損図書の修理等をして下さっており、大いに感謝したい。また、ボランティアの〇〇さんも図書館整備を中心に活動して下さっている。内容をさらに検討し、これからもお願いしたい。
- ⑩局員指導については、新入局員も含め、『今日から図書委員』（全国学校図書館協議会）という本を使って、日常活動や局会で指導したりテストしたりしているので、ある程度の成果はあがってきている。行事や日常活動を通じてよく頑張っているが、さらに自覚を高めるよう、指導していきたい。授業で図書館を使う際には自覚を持たせるためにも局員を有効に使って（指導して）いただければと思う。
- ⑪行事等の際の放送では今学期も放送局がよく頑張ってくれている。感謝したい。